

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) あおぞら

公表:令和 2 年 12 月 24 日

アンケート期間:令和 2年11月16日～令和2年12月11日

事業所名 多機能型事業所あおぞら

保護者等数(児童数)26 回収数 21 割合 80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	5		3	もう少し広いと嬉しい	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3		3	新しく入った人もいて何人いるのかなど、よくわからない	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	2		3		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	1			息子の成長に合わせて、支援内容を工夫してもらい、計画を立ててもらっていると思う	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1			毎回支援内容を細かくHUGに記録していただいているので、把握しやすい。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	2		1	色々な工夫をしていると思います。 活動内容を保護者と相談してよりよくなっていくのも良いのではないかと思います。 モンテッソーリのメソッドを取り入れて欲しい	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	2		4	3歳児以上の保育所や幼稚園を作ってくると、あおぞらとの連携が他の保育所よりも取りやすくなると思う。	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	2				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	20			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	5	1	7	サービス提供記録を読みながら保育者の関わりを参考にしています。子どもの成長の為に、今後関わり方など共有していただけると嬉しいです。 障がいとして見るのではなく、個性として保護者と一緒にかだいをクリアする方法を考えて欲しい	保護者支援をプログラムとして取り組む事が現在出来ていません。今後そのスキルをもって対応が出来る方法を検討していきたいと思いません。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	1			HUGの記録がすごく分かりやすくとてもありがたい。よく見ていてくれるのが分かる。子どもの様子を丁寧に伝えてくれている。相談にも乗ってくれる。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3			送迎の際に、いつも話してくれるのでありがたいです。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	7	2	保護者会があるのか分からない。昨今の情勢では難しいので仕方ないと思います。同じ悩みのある人たちが詰まって、共感・相談できる場があると良いです。父母の会は必要ない。	コロナが落ち着いたら、保護者同士のつながりが持てるよう機会を設けていきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20			1	連絡をすぐにくれるので助かっています。相談するとすぐに対応してくれました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20			1	とても詳しく分かりやすく書いてくれる。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19	1	1		送迎の際子どもの課題を外で離すと、他の人に聞こえてしまわないか心配	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	1	1	5		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1		6		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20			1	どんどん好きになっていきます。浅野送迎時、笑顔で保育者の肩に抱っこされていくので、安心です。子どもはとても行く日を楽しみにしている。保育園では見られない、お友達とのやり取りが出来ている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	19	1			子どもの事をよく見て、考えてくれているのでありがたい。意識の高い人と、そうでない人の差があるように思える。とても満足している。来年も同じように通わせてもらいたい。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結

討議年月日:平成 2年 12月 16日

公表:令和 2 年 12 月 24 日

事業所名 多機能型事業所あおぞら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	クラス分けをして、一か所に密になる時間が多くならないようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1	配置が守れるよう、サポートの保育士が控えてくれている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	絵カードや、指示w夜を作成するなど、特性に合わせた環境を作るようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	課題、活動、給食、昼寝など場面に応じて空間を変化させている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	職員会議を主に一度設け、振り返りが出来る機会をつくっている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		外部評価をまだ受けたことがないため、今後検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		毎月1回以上の研修が組まれている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	1		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		全体の事だけではなく、個別の支援の打ち合わせもしている。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	パート職員にも打ち合わせ内容が伝わるようにしている		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1	正職のみにならないよう、全職員の意見を参考にしている		
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
		23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1	医療的ケア児、重症心身障がい児の受け入れは行っていない	
		24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1	医療的ケア児、重症心身障がい児の受け入れは行っていない	
		25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	相談員との連携を強める事で、保育園や幼稚園との連携がとりやすいようにしている	
		26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2			
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1			
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	4		積極的に参加しているが、その点を職員にフィードバックしきれないと感じるため、フィードバックを心掛けていく。	
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	6		ペアレント・トレーニングの出来る職員の配置を今後検討していきたい。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1			

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		今年度は、コロナの影響で、保護者が集う機会をつくることが出来なかった。コロナが落ち着いたら、企画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		今年度は、コロナの影響で、地域の方が集う機会をつくることが出来なかった。コロナが落ち着いたら、企画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2		職員がいつでも見て、対応できるように保管場所の周知に力を入れていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4		パート職員に共有する機会が少ない為、全職員で共有する機会をつくっていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		全職員が研修を受講できるよう体制を取っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	4		契約時に同意はいただいているが、一年に一回支援計画に記載し、同意していただく機会を今後設けていきたい。

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。